

## 「対馬丸撃沈事件」の語り部

松木路子



私は九州博多で、毎朝お経を唱えることが習慣の学校へ通っていました。愛情いっぱいの料理上手な母に育てられました。母が亡くなる前に、「路子、私は毎日一日が終わって眠る前に神様に祈らない日はなかったんだよ。」と教えてくれたときには母の有り難さをしみじみと感じました。クリスチャンにのひとつに「対馬丸撃沈事件」の朗読会があります。この事件は終戦一年前に沖縄から本土へ向かった船が潜水艦攻撃に遭って沈没し、約千五百人の方々が生命を落とし、そのほとんどが幼い疎開児童という悲しい事件でした。さとうきび畑に立ったとき、私も見渡すかぎりの波のうねりをみながら、犠牲となつた子供たちや生存者に想いを馳せて胸がいっぱいになりました。この尊い犠牲を無駄にしないで、不幸の鎖を断ち切るために、この事実を語り継ぎ、歌い継いでいかなければと自分にも言い聞かせています。松木路子さんによる「永遠の平和 - 今、対馬丸を語る」の今年の朗読会は、8月22日に沖縄の記念館で開催予定です。

永遠の平和～対馬丸 母の祈り  
作詞/松木路子・作曲/池田進

このおだやかな海原は 母子の悼み知っている  
台風の船出の対馬丸 この世に笑顔だけ置いて  
亡きがら暗い海の底 母の祈りを花束にのせ  
ほどいた心風になり 海へ空へと流れゆく  
永遠の平和が来ますよに

祈り覚えた沖縄の 波が愁いをくり返す  
海の神さえ手が足りず 生きて生きてと夜の海へ  
わめき泣く子等放られた 母の願いを花束にのせ  
許した心風になり 海へ空へと流れゆく  
永遠の平和が来ますよに

許した心風になり 海へ空へと流れゆく  
永遠の平和が来ますよに

許した心風になり 海へ空へと流れゆく  
永遠の平和が来ますよに  
永遠の平和が来ますよに

沖縄県では、73年前の沖縄戦の組織的戦闘が終結した6月23日を「慰靈の日」として、糸満市の平和祈念公園で「沖縄全戦没者追悼式」が行われました。そこで、浦添市立港川中学校3年の相良倫子さんが、自作の詩を朗読して感動を呼びました。その一部をご紹介させていただきます。

私は、生きている。私の生きるこの島は、何と美しい島だろう。  
青く輝く海、岩に打ち寄せしぶきを上げて光る波、山羊の嘶き、小川のせせらぎ、  
煙に続く道、萌え出づる山の緑、優しい三線の響き、照りつける太陽の光。  
私はなんと美しい島に、生まれ育ったのだろう。

七十三年前、私の愛する島が、死の島と化したあの日。  
小鳥のさえずりは、恐怖の悲鳴と変わった。優しく響く三線は爆撃の轟に  
青く広がる大空は、鉄の雨に見えなくなった。草の匂いは死臭で濁り、  
光り輝やいていた海の水面は、戦艦で埋め尽くされた。火炎放射器から  
吹き出す炎、幼子の泣き声、燃え尽くされた民家、火薬の匂い。着弾に  
揺れる大地。血に染まつた海。阿鼻叫喚の壮絶な戦いの記憶。

摩文人の丘。眼下に広がる穏やかな海。  
悲しくて、忘れることのできない、この島の全て。

私は手を強く握り、誓う。奪われた命に想いを馳せて、心から、誓う。

私が生きている限り、  
こんなにもたくさんの命を犠牲人した戦争を、絶対に許さないことを。  
もう二度と過去を未来にしないこと。全ての人間が、国境を越え、人種を  
越え、宗教を越え、有らゆる利害を越えて、平和である世界を目指すこと。  
生きる事、命を大切にできる事を、誰からも侵されない世界を創ること。  
平和を創造する努力を、厭わないことを。

大好きな、私の島。誇り高き、みんなの島。そして、この島に生きる、  
すべての命。私と共に今を生きる、私の友、私の家族。

これからも、ともに生きてゆこう。  
この青に囲まれた美しい故郷から。真の平和を発進しよう。  
一人一人が立ち上がって、みんなで未来を歩んでいこう。

摩文仁の丘の風に吹かれ、私の命が鳴っている。  
過去と現在、未来の共鳴。鎮魂歌よ届け。悲しみの過去に。  
命よ響け。生きゆく未来に。  
私は今を、生きていく。



## サタデー・トーク

## バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 每週日曜日放送	
7月03日	沖縄戦「対馬丸の悲劇」(1) 松木路子	7月04日	聖書遊覧バス(創世記:和解)
7月10日	沖縄戦「対馬丸の悲劇」(2) 松木路子	7月11日	聖書遊覧バス(創世記: (子らの略奪))
7月17日	折り紙の詩(サウジアラビアの巻)	7月18日	リスナーからの「お便り交換の時間」
7月24日	サボテン日記(13)生活の周辺	7月25日	聖書遊覧バス(創世記: 祭壇を築く)

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間：日本時間 午前7時半～8時 15410kHz (再放送) 午後8時～8時30分 15.565kHz  
(米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信)

\*受信報告書をメールで送る場合：[hcjbjapan.office@gmail.com](mailto:hcjbjapan.office@gmail.com)

